

被災地視察及び懇談会報告

1 日時 平成27年8月27日(木)午前11時～午後7時

2 参加者

- ＜全連小＞大橋会長, 千木良対策部長, 今城広報部長, 小滝事務局長
- ＜岩手県＞多田会長 他7名(現地にて3名の校長が参加・説明)
- ＜宮城県＞古澤会長 他3名
- ＜福島県＞佐久間会長 他4名

3 内容

(1) 学校訪問

○ 陸前高田市立気仙小学校 薄衣裕昭校長より状況説明

【平成23年度】

- ・ 4月21日, 長部小学校・気仙小学校合同授業開始
- ・ 気仙小 4月;46名(本来は85名)→3月;60名
- ・ 長部小 4月;77名→3月;77名
- ・ 各学年1学級で合同授業(通常学級6, 特別支援学級1, ことばの教室/訪問指導)
- ・ 担任は各学級2名
- ・ 長部小の教育課程で教育活動を進める。
- ・ 校内研究は各学校ごとではあるが、被災の年度から行った。
- ・ 学校行事は基本的に合同実施
- ・ 震災支援の横軸連携開始(一関市内の3校が両校を支援)

【平成24年度】

- ・ 気仙小;51名 長部小67名 教職員数 15名×2校=30名
- ・ 3月両校の閉校式

【平成25年度】

- ・ 2校が統合し「気仙小学校」となる。…統合に対する保護者評価;「統合してよかった」89%
- ・ 児童数;100名 6学級, 特別支援学級1, ことばの教室/訪問指導) 教職員数;20名

【平成26年度】

- ・ 児童数;80名 教職員数;17名
- ・ 学力;全国・県平均レベル
- ・ 体力;環境が整わない中ではあるが、体力・運動能力等調査は全国比110

【平成27年度】

- ・ 児童数;70名 教職員数;15名
- ・ 震災から4年経ち、それまで見えなかった生活指導上の課題が少しずつ出始めてきた。
- ・ 平成30年に学校の高台移転(予定)

○ 陸前高田市立高田小学校 木下邦明校長よりDVD等を活用した状況説明

【校長としての迷いからスタート】

- ・ 学校再開にあたって子どもたちをどう迎えるか。
- ・ 犠牲になった子どもたちのことを誰がいつどこでどう伝えるか。
- ・ 家族(親)を亡くした子どもたちをどう迎えるか。
- ・ マスコミへの対応

【学校がすべきことは】



奇跡の一本松と岩手県校長会多田会長

- ・まずは安全で安心できる学校を、そして楽しいことを(遠足・修学旅行・宿泊研・夏祭り)
- ・子どもたちに力を付けてあげたい→特別なことをするのではなく震災前の教育活動へ
- ・学校は目標に向かってがんばれるところに(本当になんぼった子どもたち)

【新たな課題の出現】

- ・2年目後半から、がんばってきた子どもたちに変化が(様々なストレス)…苦悩に立ち向かえるか。
- ・子どもの力ではどうすることもできない差の開き／無力感
⇒教育活動の充実が学校のできる一番のサポート・大人が夢をもって前へ進む姿を

(2) その他の訪問場所

- 奇跡の一本松
- 希望の架け橋(バルトコンベアー)
- タピック45(旧道の駅) 等

(3) 懇談

○ 大橋会長挨拶

- ・実態・状況を把握して全連小としてしっかりとバックアップしていく。
- ・学校訪問等から困難を乗り越え教育活動を充実させようと努力していることがよく分かった。
- ・被災したその年度から校内研究を行っていることが、教育の充実につながっていると感じた。
- ・3県共通の課題, 固有の課題を理解し、全連小としてできることをしっかりとやっていく。

○ 宮城県からの報告

- ・児童数の激減
- ・帰宅後、狭い仮設住宅での家庭学習の難しさ
- ・震災復興住宅完成後の転出入の難しさ, 心のケアの問題
- ・保護者の将来不透明な生活不安や就労不安等による子どもの基本的な生活習慣の乱れ
- ・同じ被災地内での家庭間格差と子どもへの影響
- ・被災児童を支えている教職員の疲労感, ストレスに対応した心のケア

○ 岩手県からの報告

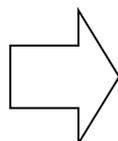
- ・急激な児童数の減少
- ・仮設住宅が分散し、スクールバスでの登下校が多いため時間が制約される
- ・子どもの運動不足による体力低下や家庭学習環境の悪化による学力低下
- ・大型工事車両が増えたことによる交通安全の配慮
- ・保護者間格差の広がり子どもに与える影響大
- ・仮設住宅での暮らしによる保護者のストレスの増加

○ 福島県からの報告

- ・学校の極小規模化
- ・教育環境の劣化(施設設備, 心, 学力・体力, 生活習慣, 家庭環境, ふるさと喪失感)→不登校の増加
- ・ふるさと創造学の推進
- ・震災の記憶をと教訓を風化させない取組
- ・放射線教育の推進に向けた取組
- ・情報端末機の取り扱いに関する調査と対応

(4) 各県共通の課題

- ・児童の心のケア
- ・学力・体力の向上
- ・仮設住宅等に住む児童及び保護者への対応
- ・新たな課題への対応
- ・震災を風化させない取組…「記憶から記録へ」



加配教員(復興加配)やスクール
カウンセラー等の役割は重要